

平成30年度南筑後地区家庭教育ステップアップ研修会 報告

担当：船津

1 趣 旨	都市化や核家族化、地域のつながりの希薄化等を背景として、家庭教育を支える環境が大きく変化する中、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっている。そこで、地域における家庭教育支援の取組を広げるため、家庭教育支援に関する理論や技法について研修を実施し、地域において主体的に家庭教育支援活動を実践する人材の育成を目指す。
2 対象者	管内家庭教育支援チーム、管内幼稚園・保育所関係者、PTA関係者 各市町社会教育・子育て支援課・福祉課行政担当職員 等 (62名)
3 期 日	平成30年9月28日(金)
4 場 所	南筑後教育事務所 第1研修室
5 内 容	【講話】「早寝早起き朝ごはん ～賢く、元気に、機嫌よく！～」 国立青少年教育振興機構 理事長 鈴木 みゆき 【説明】「南筑後管内 家庭教育支援チームの取組」八女チーム/大川チーム/筑後・みやまチーム 福岡県教育庁南筑後教育事務所 社会教育主事 船津 涼 【協議】「家庭教育の充実のために」

6 評 価

(1) アンケートから

評価項目		4	3	2	1	平均
総合評価	○本日の研修会を総合的に評価してください。	40	7	0	0	3.9

◆講話について

- 早寝早起きがなぜ良いのか、論理的に理解できて、人に伝えるときにとっても有効だなと思った。
- 生きるための脳、感じる脳、考える脳のお話で気持ちのコントロールができる大切さを知りとても良かった。
- 睡眠が体の面で大切と思っていたが、脳の面からはっきりと示されていることはとても印象に残った。
- 私が勤務している学校でも、睡眠や生活習慣に課題がある子どもが多くいる。本日の研修で鈴木先生の講話を聞いて子どもや保護者に伝えたい事がたくさんあったのでしっかり生かしていきたい。
- 本当に全てにおいて具体的で、今までの講話の中で一番だった。

◆説明について

- 他地区の取組など様々で大変勉強になった。保護者の支援の必要性を感じているので、もっと地域とのつながりが増えていくと良いなと思う。
- 私の市にはない取組であり、とても参考になった。
- 資料を見てわかる部分もあると思った。(資料を配布していなかったため)

◆演習について

- 楽しく話ができた。自分も話に入るタイミングがはかれないことがあったため、聞き手、話し手で分かれると話しやすかった。また、意図的な話題を設定することで話す内容も集中でき応用がきく。と驚かされた。
- 自分のことを人に話すことはあまりすきではないが、新しいことをしたような気持ちになった。
- 家庭教育支援をすすめていくためには、まず参加しやすい雰囲気をつくることや、参加者がまた参加したいと思えることが大切だと思う。そのためにレクリエーション等を取り入れるのは効果的だった。
- サイコロトークはとてもよいが、発信ばかりの面もある。

(2) 成果と課題

- 大変力のある講師の話で、早寝早起き朝ごはんの重要性について参加者の中に新たな気づきや今まで知っていたことをより深く理解できた部分があり、満足度の高い講話となった。
- サイコロトークとアイスブレイク等、手軽にできるものを紹介した。参加者はモデルとして体験し、効果を感じたことで、それぞれ持ち帰り話し合いの場で活用しようという意見が多くあった。
- 満足度の高い、なかなか聞くことができない講話であったが、広報が不足しており予定より少ない参加者であった。もっと早い段階から参加者を集め、確実に参加人数を増やしていく手立てが必要だ。



【写真① 講話（鈴木みゆき先生）】



【写真③ 説明】